

## 日本医史学雑誌 第67巻 総目次

## 原 著

## 明治種痘の研究

——補完する種痘積善社と対立する種痘勸善社——…………… 松村 紀明 3

## 近代精神医療の導入の再検討

——東京府癲狂院建設計画における「操業」の分析を中心に—— …… 幸 信歩 16

## 明治期皇子女と漢方医

——なぜ漢方医が皇子女の主治医となり最終的に罷免に至ったか？——

…………… 川島 希 32

多紀元簡『樞中鏡』について…………… 成 高雅 251

味岡一門の「三蔵」系文献と「三蔵」について…………… 中 雅哉, 齊藤 宗則 266

『解体新書』究理堂系書入れ本について …… 村松 洋 375

## 研究ノート

合田強の『西洋醫述 卷四』に書かれた図の原典から明らかになった事：

(1) 本草図篇…………… 板野 俊文 48

## 随 想

医史学と私——名古屋周辺地域の研究会エピソード——…………… 青木 國雄 286

医史学と私…………… 岡田 靖雄 288

医史学と私…………… 田中 祐尾 398

## ひろば

『ヒポクラテス集典 Corpus Hippocraticum』…………… 坂井 建雄 296

『黄帝内経』解題…………… 真柳 誠 407

ガレノス Galen 『全集 Opera omnia』…………… 坂井 建雄 413

## 資 料

『医学館要秘録』下…………… 町 泉寿郎 65

関 寛斎 関連文書 (2)…………… 須永 忠, 齋藤美栄子 87

文政3年配剤記…………… 木下 浩 96

『医学館方案』…………… 町 泉寿郎 302

暴瀉病について その2 ——『安政記聞』——…………… 服部 瑛 309

関 寛斎 関連文書 (3)…………… 須永 忠, 齋藤美栄子 315

チューリッヒ医史研究所図書館保管の1928年6月8日東京学士会館開催の

スイス・バーゼル大学耳鼻科ジーベンマン教授追悼録より

…………… 高橋 薫, 高橋日出雄 423

## 翻刻『寛政庚申 御用留記』

—医学館世話役多紀元簡が書留めた1800年の幕府医官の記録—

..... 町 泉寿郎 441

## 記 事

## 消 息

第27回富士川游学術奨励賞を受賞して ..... 平尾真智子 464

例会案内..... 324, 465

例会記録..... 108, 325, 466

## 例会抄録

翻訳者フナインと『医学問答集』: イスラーム医学の形成 ..... 矢口 直英 108

「医は不仁の術」再考

—戦時と平和時, 個別的倫理と集合的倫理— ..... 津谷喜一郎 109

江戸時代の経穴学にみる考証と折衷—小坂元祐と山崎宗運を事例に

..... 加畑 聡子 111

スペインかぜ流行とわが国の衛生行政

—内務省衛生局『流行性感冒予防心得』と大日本私立衛生会

『予防注意書』の比較を中心に— ..... 逢見 憲一 113

白内障手術を支える医療技術の発展について..... 園田 真也 326

西洋医学の原点, 古代医学文書の解読—ガレノス中世写本と校訂本の諸問題

..... 福島 正幸 466

## 座 談 会

医史学から展望する COVID-19 パンデミック ..... 328

## 書 評

磯田道史 著『感染症の日本史』..... 渡部 幹夫 114

橋本 明 著『「治療の場所」の歴史

—ベルギーの街ゲールと精神医療—』 ..... 大谷 誠 115

坂井建雄 著『医学全史—西洋から東洋・日本まで』..... 中村 安秀 117

竹原万雄 著『近代日本の感染症対策と地域社会』..... 逢見 憲一 119

太田 剛 編著『幕末讃岐の種痘医 神内喬木文集』..... 清水 信子 364

Henderson, JK “Arthur Schüller: Founder of neuroradiology. A life in two countries.”

..... 坂井 建雄 365

小菅信子 著『日本赤十字社と皇室—博愛か報国か—』..... 川嶋みどり 468

## 書籍紹介

吉元昭治 著『養生外史 不老長寿の思想とその周辺 中国篇』

『養生外史 不老長寿の思想とその周辺 日本篇』

『老荘とその周辺 古代中国医学の源流および道家・道教との関わり』

『不老長寿への旅 ニッポン神仙伝』..... 渡部 幹夫 121

小石家文書研究会 編『究理堂所蔵 京都小石家来簡集』……………	町 泉寿郎	121
友部和弘 著『刺絡の道——三輪東朔から工藤訓正——』……………	町 泉寿郎	123
小山聡子 編『前近代日本の病気治療と呪術』……………	町 泉寿郎	124
小川徳雄・永坂鉄夫 著『英語医学用語——その語源をたどる——』 ……………	澤井 直	125
歴史学研究会 編, 中澤達哉・三枝暁子 監修『コロナの時代の歴史学』 ……………	町 泉寿郎	126
第121回日本医史学会のオンライン開催を終えて……………	志村 俊郎	128
第121回日本医史学会総会に参加して……………	松木 宣嘉	131
投稿規定……………		132, 245, 368, 470
編集後記……………		134, 247, 370, 472

## 第122回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

### プログラム

#### 公開講座 特別講演

- 江戸の流行り病と人々のくらし  
——幕末の疱瘡と種痘導入をめぐる—— …………… 鈴木 則子 143
- 人類に適応を成し遂げた病原微生物  
——結核と新型コロナウイルス—— …………… 佐野 千晶 147

#### 緊急提言

- コロナ禍における医史学の役割…………… 加藤 茂孝 151

#### 教育講演「出雲地方の医学史・洋学史」

- 出雲国の医学…………… 梶谷 光弘 155
- 社会史的にみた近世島根の医療…………… 岡 宏三 157

#### パネルディスカッション「中国医薬・鍼灸の自国化再考」

##### 基調講演

- 日本医学史のなかの中華幻想 …………… 橋本 雄 161

##### 研究発表

- 日本漢方の鼻祖, 田代三喜の医学…………… 鈴木 達彦 166
- 琢周と琢周流鍼術の虚像と実像…………… 長野 仁 169

#### 一般演題

- ペラグラ 第4報  
——イタリアにおけるペラグラ禍の発生から終焉まで—— …………… 伊藤 泰広 176
- 17世紀ドイツにおける医学自然学雑誌の創刊 …………… 安西なつめ 177

3	ゼンメルワイス前史：知られざる塩素消毒の先駆者達	佐藤 裕	178
4	ゲーテと医療（第6報） ——その作品にみるゲーテの医師観と医学教育理念について——	鈴木 重統	179
5	16世紀前半の医学学習指南書	澤井 直	180
6	『ヒポクラテス集典』のこと	坂井 建雄	181
7	韓流メディカルドラマ「馬医」のもう一人のモデル任彦国	吉村 美香	182
8	筑後久留米藩主有馬頼威公の最後の病状 ——平川良栄と高松凌雲と佐藤進が診療——	中山 茂春	183
9	医業類似行為を行える医療資格者について	清野 充典	184
10	1926年の自然療養社による小酒井不木『闘病術』批判について	渡部 幹夫	185
11	熊本藩の医学教育	松崎 範子	186
12	明治期以降第二次世界大戦前の“スペインかぜ”・ インフルエンザ超過死亡と罹患，死亡	逢見 憲一	187
13	横浜居留地にあった外国系公共病院	山田 裕道，若尾 みき，酒井 シヅ	188
14	島根県医学校長を務めた佐々木文蔚： 青森県初の医学士の生涯と業績	佐々木俊徳	189
15	群馬県立病院長山崎泰輔の管内巡回について	須長 泰一	190
16	医療における性問題	岡田 靖雄	191
17	大塚葉報に見る輸液容器の変遷	岩原 良晴	192
18	伝染予防看護におけるマスク記載の変遷	鈴木 紀子	193
19	検索語の近接度を限定できる漢方テキスト複合検索データベースの構築	星野 卓之，周防 一平，加畑 聡子，小田口 浩，花輪 壽彦	194
20	日本統治下台湾の精神医療施設	橋本 明	195
21	三代目陸軍軍医総監石黒忠憲と新潟県長岡素封家高橋家	岩下 哲典	196
22	乳児死亡率減少の視点からみた日本の母子健康手帳の役割の変化	中村 安秀	197
23	日露戦争における陸軍病院船の運航状況	柳川 鍊平	198
24	板橋の渋沢栄一養育院長銅像の数奇な運命	稲松 孝思	199
25	明治12年における岡山のコレラ流行と木野山信仰	木下 浩	200
26	占領期日本の衛生教育に関する研究 ——映像記録にみる「公衆衛生列車展覧会」——	田中 誠二，杉田 聡，丸井 英二	201
27	日本赤十字病院の戦前の海外における事業展開と現在（朝鮮編）	福永 肇	202
28	歯槽膿漏症図像はどう描かれてきたか	竹原 直道，安細 敏弘	203

29	日本の医療情報システムの勃興： 医療機関のコンピュータ導入に注目して	奈須野文槻	204
30	サンタ・マリア・ヌオヴァ病院の創設と発展	柳澤 波香	205
31	アメリカ女性病院による関東大震災への医療支援と 日本人女性医師について	藤本 大士	206
32	癌国際連携の機運と歩み	河原ノリエ	207
33	1890-91年の富士川游： 『普通衛生雑誌』と『報知新聞医事月報』の合併を中心に	月澤美代子	208
34	日韓の医学に及ぼした藤浪鑑の影響 ——基礎医学と医史学を中心に——	李 桜源	209
35	華岡青洲の「瘍科方笈」は「瘍科瑣言」に準拠して成立したのか	松木 明知	210
36	西鶴作品にみる身体に関する語（九）	計良 吉則	211
37	幕末に招聘された外科医サヴァチュの医業績について	江沢 暁彦	212
38	吉雄流外科3：菟口篇	板野 俊文	213
39	美濃郡上藩の医術・医学伝習世話役たち	森永 正文	214
40	各務文献著『整骨撥亂』について	今井 秀	215
41	本居宣長の医学と『古事記』	吉川 澄美	216
42	全国の華岡流全身麻酔下乳癌手術件数 ……土手健太郎, 藤谷 太郎, 矢野 雅起, 高石 和		217
43	鳥取藩在村の医療環境——嘉永・安政期「在方諸事控」の検討	海原 亮	218
44	茶と医薬——忍性と梶原性全——	岩間眞知子	219
45	日本で最初の西洋式病院 長崎養生所の男性看病人	平尾真智子	220
46	正倉院文書の「茶」は茶か	梅木 春幸	221
47	引痘策問十五條	山内 一信, 不破 洋	222
48	養生文化と伝承者栄西禅医に関する思考	小磯まり子	223
49	「喫茶養生」を実践した茶人たちの健康寿命	白井 宗佐	224
50	小森桃塙著『泰西方鑑』の引用書からわかった ライデン学統の Iatrochemistry の影響	相川 忠臣	225
51	古代日本におけるマスク文化発祥の歴史と現在社会への影響 ……安細 敏弘, 高瀬万里子, 赤崎 優, 大南 裕樹, 桑原 良英, 竹原 直道		226
52	奈良時代の『金光明最勝王経』の修法と香薬 その2	安部 郁子	227
53	三宅春齡『補憾録』再考	青木 歳幸	228
54	医史学にみる「習合」と「分離」	西巻 明彦	229
55	『医学院学範』にみえる医学院の学習手順と畑黄山の儒書観	向 静静	230
56	近代日本の医療活動にみる看護	山口 静子	231
57	難波抱節旧蔵『神遺方』注釈書について	清水 信子	232
58	『海上懶翁医宗心領』の「内経要旨」について	浦山 きか	233

- 59 古活字本医書の出版で知られる梅寿と  
その寛永5年版『素問/靈樞註証發微』について …… 町 泉寿郎, 小曾戸 洋 234
- 60 東京国立博物館所蔵の『五躰身分抄』について …… 富田 貴洋, 長野 仁 235
- 61 針灸の「年神」禁忌の日本における受容と変容  
—『座右抄』における「年神」を中心に …………… 範 駿 236
- 62 『鍼灸要法』と『鍼灸要穴法』『十四経穴治法』の関係について … 谷田 保啓 237
- 63 井上恵理の脈診について …………… 周防 一平, 小田口 浩, 花輪 壽彦 238
- 64 『難経存疑』執筆に用いられた『難経本義』整版について …………… 宮川 隆弘 239
- 65 新出の西村流『家伝鍼灸秘録』について  
…………… 加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 240